

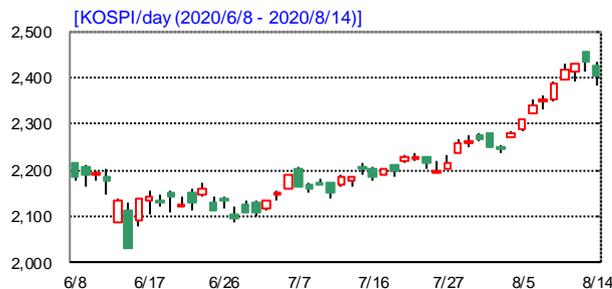


【韓国】 総合指数は週間で2.4%高と3週続伸、今週は値固めの展開か

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で2.4%高と3週続伸した。総じて買い優勢の展開が続いた。米国政府の財政出動や世界的な経済再開に対する期待、中長期的な相場の先高観を背景に、投資家が運用リスクをとる姿勢を強めた。主力のハイテク株や自動車株を中心に買いが広がり、11日に心理的節目の2400ポイントを回復。2018年6月以来、約2年2カ月ぶり高値を更新した。12-13日は短期的な相場過熱に対する警戒感から上値が重かったが、小幅ながら連日で2年2カ月ぶり高値を更新し、月初から連騰を9営業日にまで伸ばした。14日はハイテク株や金融株を中心に利益確定売りが出て、10営業日ぶりに反落したものの、押し目買いが下値を支え、2400ポイントを守って引けている。今週は米株市場をにらみながら値固めの展開か。

▼指数チャート

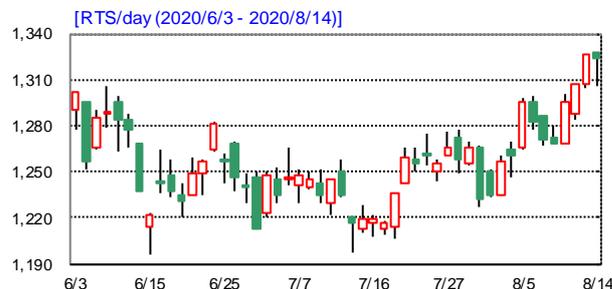


【ロシア】 RTS 指数は4.1%高と続伸、今週は上昇基調にある原油相場に注目か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で4.1%高と大幅に続伸。原油・ルーブル高や4-6月期のGDPが好感された。週明け10日は小幅に下落したが、11日に前日比2.2%高と大幅に反発。米国の追加経済対策への期待でリスクオンが強まる中、ロシア当局がコロナワクチンを正式に承認し、早期実用化への期待が高まった。ブレント原油の45ドル台への上昇に加え、対ドルでのルーブル高もドル建てで取引されるRTS指数を押し上げた。4-6月期のGDP速報値が予想ほど悪化しなかったことも好感された。指数は12日に1300ドルを超え、13日には約5カ月ぶりの高値を更新した。個別では、タトネフチ、ノバテック、ズベルバンク・オブ・ロシアなどエネルギー銘柄や金融株が大幅高。今週は上昇基調にある原油相場をにらんだ展開か。

▼指数チャート



【ベトナム】 ベトナム指数は1.1%高と続伸、今週もリスクオンの流れを受けて堅調

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で1.1%高と続伸。欧米株が上昇し、ベトナム市場でもリスクオンの流れが続いた。前週に5.4%高と大幅に上昇した指数は週明け10日に前週末比0.2%高と小幅に続伸。11日は上昇一服となったが、12-13日も続伸。米国の追加経済対策やコロナワクチン実用化への期待で欧米株が上昇する中、原油相場の上昇も支援となり、金融株やエネルギー銘柄が堅調に推移した。V 指数は14日の場中に860.32ポイントまで上昇し、7月22日以来の水準を回復。850.74ポイントで週の取引を終え、月初来では6.6%高となった。個別では、金融のテクコムバンク、ベトインバンク、ベトナム投資開発銀行やエネルギーのパetroベトナム・ガスが上昇し、指数を押し上げた。今週もリスクオンの流れを受けて堅調な展開か。

▼指数チャート

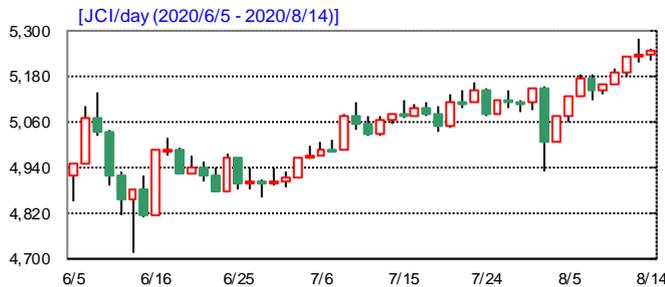


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 2.0%高、今週は 19 日に中央銀行が金融政策決定会合を開催

ジャカルタ総合指数は週間で 2.0%高と反発。週末まで 5 日続伸と好調だった。週初の 10 日は、前週末に発表された米雇用統計で、非農業部門の雇用者数が市場予想を上回った効果で反発。12 日に終値で 5 カ月ぶりに 5200 ポイント台に乗せると、その後も好地合いの中、週末までじりじりと上値を広げた。今週は 18 日に 7 月の貿易統計が発表されるほか、19 日には中央銀行が定例の金融政策会合を開催する予定。中銀は今年に入り 4 回の利下げを実施しており、前回会合では政策金利を 4.0%に引き下げた。今回も追加利下げに踏み切れるかが注目される。17 日は独立記念日、20-21 日はイスラム暦新年のため休場。

▼指数チャート



【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】スレーツタイムズ指数は 1.4%高、今週は 7 月の非石油地場輸出に注目

スレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 1.4%高と続伸。NY ダウの上昇に連動し、おおむね堅調な値動きだった。連休明けの 11 日は、4-6 月期の GDP 改定値が前年同月比 13.2%減と速報値の 12.6%減から下振れした上、今年の経済成長率の見通しがこれまでのマイナス 4-7%減からマイナス 5-7%減に修正された影響で、指数は小幅に続落。一方、12 日に反発すると、13 日は前日の NY ダウが約半年ぶりの高値を更新した流れを引き継ぎ、終値で前日比 1.3%高と続伸した。ただ、14 日は方向感に乏しく反落して引けている。今週は 17 日発表の 7 月の非石油地場輸出に対する市場の反応が焦点になりそうだ。

▼指数チャート

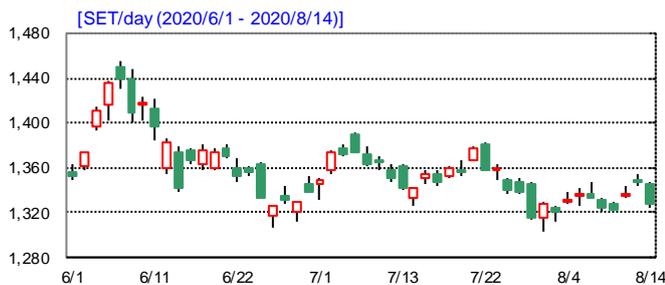


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.2%高、今週は 4-6 月期の GDP が焦点

SET 指数は 4 日間の取引で 0.2%高と 4 週ぶりに反発。週末の反落が上昇幅を縮めた。週初の 10 日は、前週後半から下げ止まらず 3 営業日続落。一方、11 日は中国の景気回復に対する期待感から買われ、前日比 1.1%高と反発した。祝日を挟んだ 13 日も買い優勢の展開が続いたが、14 日は中国の 7 月の鉱工業生産と小売売上高が市場予想から下振れした上、前日の NY ダウが反落したことも嫌気され、指数は終値で前日比 1.5%安と反落して引けている。今週は 17 日発表の 4-6 月期の GDP に対する市場の反応が焦点。外部要因では、「OPEC プラス」の共同閣僚監視委員会後の原油の値動きが意識されそうだ。

▼指数チャート

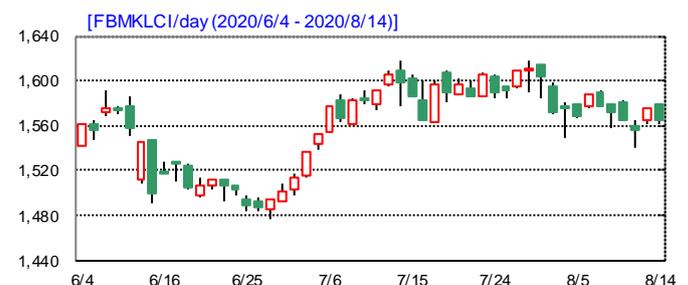


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.9%安、4-6 月期の GDP は前年同期比 17.1%減

クアラルンプール総合指数は週間で 0.9%安と続落。買い材料に乏しく、さえない値動きが続いた。週初の 10 日は、ゴム手袋メーカー株が利益確定売りで下落し、指数は続落。その後も売り優勢の展開が続き、じりじりと下値を広げたが、13 日は米国で新型コロナウイルスワクチンの臨床試験が進む中、景気回復への期待が高まり、終値で前日比 1.3%高と 5 営業日ぶりに反発した。ただ、14 日は 4-6 月期の GDP が前年同期比 17.1%減と 09 年 7-9 月期以来のマイナス成長となったことが嫌気され、反落して引けている。今週は 21 日に 7 月の CPI が発表される予定。20 日はイスラム暦新年のため休場となる。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。